

インターンシップ・仕事体験受け入れ事業所向けチェックシート

2023/11/20 時点作成版

しまね産学官人材育成コンソーシアム インターンシップ等推進委員会

- ※ 本チェックシートは学生受入時の留意点を簡易的にリスト化したものです。受入体制準備の目安として活用ください。
- ※ ジョブカフェしまね等が実施するインターンシップ・仕事体験事業で学生受入を行う場合、この項目とは異なる条件がある場合がありますので、ご注意ください。

事前準備

- 人事部門だけでなく、会社全体で学生を受け入れる準備ができている
- 実施目的・受入体制等を勘案して、インターンシップと仕事体験のどちらを実施するか検討ができている
- プログラム内容の詳細を学生に分かるように提示ができている
- 学生が安心して参加できる環境ができている
- 学生の要望に応じてプログラムを変更するなど柔軟な対応ができている

上級者
向け！

本当にあったNG事例

(学生の声)

- ✓ 社員さんから熱意、思いが伝わらなかった
- ✓ 周囲のパート社員さんからアルバイト生だと認識されていた
- ✓ 何を体験できるのか分からず、当日まで不安だった

プログラム内容

- 会社説明だけでなく、就業体験ができる内容になっている
- まとめやフィードバックの時間を取り、学生自身の成長につながるようなプログラムになっている
- 学生への指示が明確になっている
- 現場社員など人事担当以外との交流時間を設けている
- 学生に何を伝えたいか、感じて欲しいか、目標設定した上でプログラム設計を行っている

本当にあったNG事例

(学生の声)

- ✓ 長時間の動画視聴や会社概要説明、職場見学のみだった
- ✓ アルバイトと同じ業務だった
- ✓ 体験業務の目的が示されず、何のためにやっているか分からなかった（1日中清掃作業だった）
- ✓ 人事担当者との交流のみで、若手社員や経営者との接点がなかった

- ✕ 学生の「参加目的・ゴール」と「身につくスキル・能力」を学生に伝えている

アフターフォロー

- アンケート等を実施して、学生の評価を次回のインターンシップ・仕事体験に活かしている
- 学生への連絡・フォロー等を行っている
- ※ 取得した学生情報の採用活動への活用ができるのは、インターンシップのみ
- ✕ 「インターンシップ・仕事体験への取組姿勢・成果」をフィードバックとして伝えている
- ✕ どのようなスキル・能力が身に付いたか、一人ひとりの学生と確認している

【参考】三省合意を踏まえたインターンシップ（タイプ3）に必要な要件

- 実施期間の半分を超える日数を職場での就業体験に充てている
(テレワークが常態化している場合を除き、テレワークは含まない)
- 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対してフィードバックを行っている
- 汎用的能力活用型は5日以上、専門活用型は2週間以上で、長期休暇期間中に実施している
- 卒業前学年及び卒業学年の学生を対象としている
- 募集要項等に以下の項目に関する情報を記載し、HP等で公表している
- ・プログラムの趣旨
 - ・実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、給与の有無
 - ・就業体験の内容
 - ・就業体験を行う際に必要な能力
 - ・インターンシップにおけるフィードバック
 - ・採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨
 - ・当該年度のインターンシップ実施計画（時期・回数・規模等）
 - ・インターンシップ実施に係る実績概要（過去2～3年程度）
 - ・採用選考活動等の実績概要